



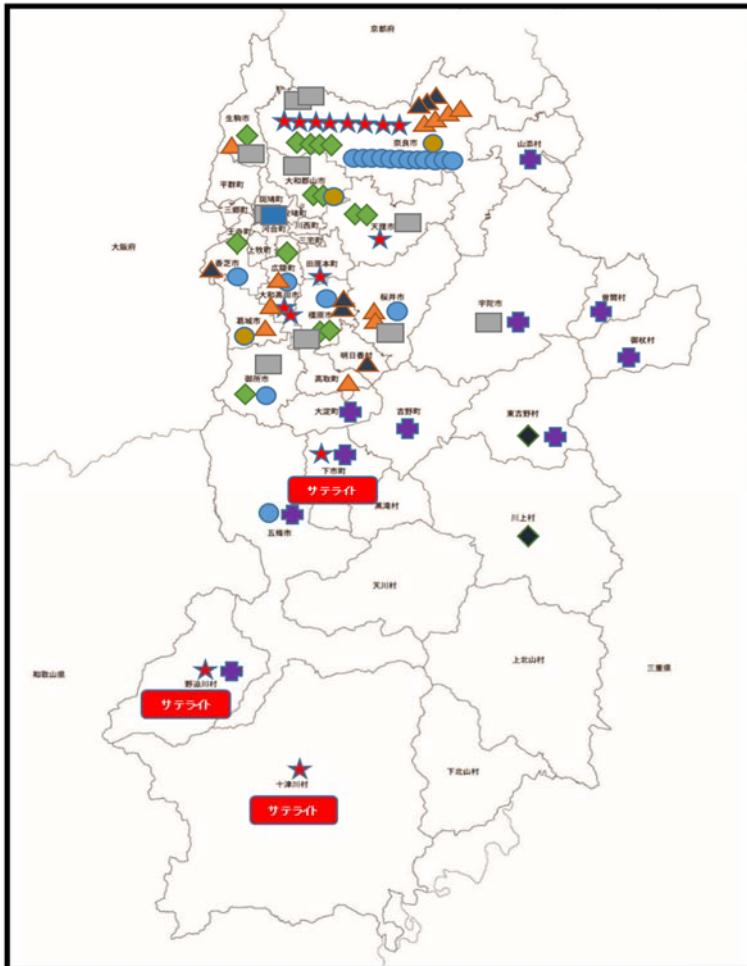
やまと共創郷育センター NEWS LETTER

2019年春号

平成27年12月にスタートした本学におけるCOC+事業は、いよいよ来年度に補助期間の最終年度を迎えます。これまで、県内自治体・企業と連携する体制を整え、地域とのつながりを強くしたフィールドワーク型・PBL型を含む「地域志向科目」の開講を通じて多様な地域人材を輩出し、一人でも多くの学生が県内就職することを目指してきました。本号では、平成30年度後半の取組みを中心にをご紹介します。

様々な分野で県内各地域、自治体、企業と連携・協働

COC+事業では、学生が協働自治体をはじめとする様々な地域に赴いて、それぞれの地域が抱える課題の解決に実践的に取り組むPBL型地域志向科目や、県内自治体及び企業の専門家を実務家教員として招いた地方創生理解科目並びに、これらの経験を踏まえた自治体に対する政策提案・実践を通じて、地域にどのような貢献が出来るかを学生自らに問う機会を提供してきました。また、県内企業魅力発見セミナーや県内企業等に勤務するOGとの交流会、3校合同バスツアーによる企業見学会等、各種就職支援活動を積極的に実施し、これまで知る機会が無かった地域の確かな技術力を持った魅力ある企業との出会いの場を提供し、これから就職活動時期を迎える学生の業界研究・企業理解に向けたサポートを行いました。



左記地図は、COC+事業による様々な取組を通じて奈良県全体に広がったネットワークを表しています。

次年度もこれまで築いてきたネットワークを大切に、学生の地域定着を目指して取組を進めて参ります。

- サテライト
- ★ 参加自治体及び参加企業
- ◆ 地域支援のための運動指導
- ◆ 紀伊半島生物資源保全事業
- 県内大学生による学習支援事業実施先自治体
- ▲ 地域志向科目「なら学+(プラス)」実務家教員
- 女子大学生ワーク&ライブEXPO参加企業
- ◆ 県内企業魅力発見セミナー参加企業
- 県内企業OGとの交流会
- 県内自治体魅力セミナー参加自治体
- ▲ 県内企業業界研究会参加企業
- 県内企業バスツアー見学会

平成30年度後期のCOC＋事業の取組み

●「女子大学生ワーク&ライフEXPO 2018」(10/27)

本学体育館にて「女子大学生ワーク&ライフEXPO2018」(奈良県主催、本学・奈良県立大学共催)を開催しました。このイベントは女子大学生が就職活動のスタートラインに立つ前に、働く女性のリアルな話を聞くことで働き続けることを含めたライフプランをイメージする機会とするべく、本学学生が奈良県に企画提案し実現したもので2回目の開催です。県内企業等25社、本学および関西圏の他大学に通う女子大学生63名が参加し、元サッカー女子日本代表東明有美氏による記念講演の他、ライフデザインセミナー、就活メイク講座、社会人スキル講座等、多彩なプログラムで行われました。



●「県内企業見学会」(11～12月 計7回実施)

3回生を対象としたものづくり関係の県内企業見学会を実施しました。訪問先は、クオリカプス(株)【製薬】、DMG森精機(株)【工作機械】、三笠産業(株)【包装資材】、(株)MSTコーポレーション【工具保持具】、(株)呉竹【文具】、梅乃宿酒造(株)【食品】、佐藤薬品工業(株)【製薬】の7社で、普段目にすることが出来ないものづくりの現場を体験し、業界と企業への理解を深めました。



●「県内自治体の魅力を聞くセミナー」(11/29)

県内10自治体の協力を得て「県内自治体の魅力を聞くセミナー」を開催しました。各自治体の特色や魅力に関するプレゼンの後、学生が個別の自治体ブースを訪問し、職員やOGに自治体のこと、仕事のこと、採用試験のことなどを伺いました。参加学生たちにとっては、県内自治体の魅力をじっくりと聞くことができ、情報収集だけではなく就活に向けた学生生活を送るためのアドバイスも得ることができました。



●「鹿と木 マルシェ」(12/1)

地域志向科目「キャリアデザイン・ゼミナールB(53)」の成果発表の場として、奈良の木の魅力を地域の人や本科目を受講していない学生に伝えることを目的に開催しました。学生たちは、商品づくりからイベント名とロゴの考案、広報、会場デザインまで主体となって取り組み、授業の中で「講師の話聞く・自分たちが体験する」だけでなく、それらを広めるためのモノづくり・イベント企画実施を通して、木の素材を知り木のある暮らしへの理解を深め、体験と実践を通じた学習により楽しさと喜びを共感し、主体的に地域の課題解決に関わる力を身につけることができました。



●「コミュニティ・アクション取組発表に関する公開講座」(12/2)

参加自治体である下市町の広橋会館で、地域志向科目「コミュニティ・アクション」の取組発表に関する公開講座を開催しました。この公開講座は、下市町で学生たちがフィールドワークを行い、地域コミュニティの課題解決に向けた活動実践の成果を発表する場として、本学社会連携センター、なら学研究センター共催で開催されたもので、地域コミュニティの現状を理解するための地域社会調査の方法を実践的に習得するとともに、解決に向けたアクション(PRコンテンツ制作や特産品開発、イベントなど)の企画・実践の過程を体験的に学ぶことができました。



●「奈良県内大学生による学習等支援事業成果報告会」(12/13)

奈良商工会議所大ホールで、奈良県内大学生による学習等支援事業成果報告会を開催しました。これは、本学生活環境学部の学生グループがこれまで実施してきた「野迫川村奈良女塾」の実績を基に、平成28年度の奈良県

「県内大学生が創る奈良の未来事業」政策提案公開コンペにおいて、優秀賞を受賞した「女子大塾～女子大生による県南部学習支援～」が事業化されたもので、今年度で2年目の実施となりました。事業に携わる奈良県職員とと本学の学生ボランティアが中心に運営を行い、今年度の活動事例発表や大学生の指導を受けた小中学生によるアンケート集計結果の報告をおこないました。

●「3校合同 県内企業見学会～県内企業の魅力を体感しよう～」(2/15)

奈良県主催、COC+3校の学生を対象とした奈良県内企業見学会を開催しました。見学ルートは2コースに分かれており、Aコース(㈱品川工業所、㈱フジフレックス、上六印刷㈱)及びBコース(辰巳電子工業㈱、㈱藤田油機、ケイミュー㈱)に各校の学生が参加し、県内企業への理解を深めました。

地域志向科目「なら学+（プラス）」を開講

地域志向科目の一つである「なら学+(プラス)」(教養教育科目)を開講しました。今年度は全学部から学生208名が受講しました。この授業では、COC+参加大学、県内自治体・企業で実務に携わる専門家を実務家教員としてお招きし、様々な視点から奈良の課題や取り組みについて学ぶことによって、問題解決力、提案力を養い、奈良はもちろんのこと地元に戻っても活躍できる未来の地域リーダーの育成を目指して展開してきました。本講義は、学生が授業ごとに感想と次回授業への期待を記入した小レポートを提出し、授業冒頭に前回授業の受講生感想と講師からのコメントをもとに振り返りを行い、奈良の課題を様々な他者と学ぶ授業構成としました。最終回は、本学サテライト教育施設のある十津川村ならびに野迫川村で活動している学生の取組実績発表ならびに南都経済研究所研究員による地方創生に関する総括講演授業を行いました。また、受講学生に対して「授業を通じて得た知識や自分で調べたデータをもとに『奈良への提案プラン』を作成して下さい」と題して最終課題レポートの提出を求めたところ、これまでの受講内容や自身の経験を踏まえて多彩な提案があり、奈良県ならびに(一財)南都経済研究所のご協力により優秀提案者に対して、奈良の歴史伝統観光産業といった礎をさらに発展させる「『なら』いにしえ賞」と、新たな奈良の未来を創生する「『なら』みらい賞」として表彰する予定である。



平成30年度 なら学+(プラス)授業スケジュール

授業回	授業内容	担当教員(ゲスト講師)
1回	ガイダンス	やまと共創郷育センター(成瀬・前川)
2回	奈良でのコンテンツツーリズムを考える	奈良県立大学【COC+参加校】
3回	観光産業への理解を深め、課題を探る	奈良市観光協会&飛鳥観光協会
4回	女性の起業やワーク&ライフプランを考える	奈良県女性活躍推進課&㈱Table a Cloth
5回	生活福祉(地域で暮らす)を考える	奈良佐保短期大学【COC+協力校】
6回	地域福祉(地域で暮らす)を考える	奈良県社会福祉協議会&(社福)功有会
7回	モノづくりを通じての地方創生	奈良工業高等専門学校【COC+参加校】
8回	伝統産業(林業)の理解と課題を探る	奈良県森林技術センター&㈱イムラ
9回	産学連携と地場産業(靴下)の理解と課題を探る	奈良女子大学&㈱キタイ
10回	伝統産業(製薬)の理解と課題を探る	奈良県薬事研究センター&田村薬品工業㈱
11回	地域社会における技術者の役割	奈良工業高等専門学校【COC+参加校】
12回	奈良の現代産業に聞く	㈱ATOUN&DMG森精機㈱
13回	柿(奈良特産)を通じたマーケティングを考える	奈良県農林部&㈱マックス
14回	地方自治体の役割・課題を探る	奈良県地域振興部&下市町
15回	学生による地域活動発表と地方創生にかかる講演	本学学生2グループ&南都経済研究所

COC+フォローアップに係る現地視察を受けました

2月28日、日本学術振興会COC+委員会事務局の視察委員による現地視察が行われました。当日は、本学及び参加校による取組みと事業進捗状況報告に基づく視察委員との意見交換の他、スカイプを使って下市アクティビティセンターの様子を紹介しました。また、野迫川村奈良女塾や下市町学習支援事業に参加した学生、十津川村でのPBL型地域志向科目の実践取組みに参加した学生への聞き取り調査も行われました。

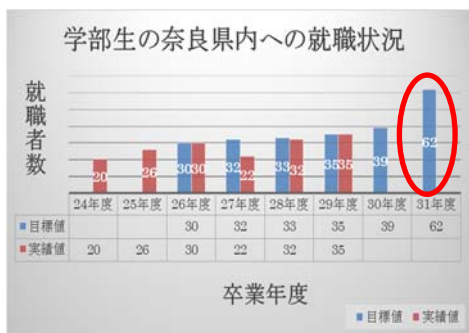
地域志向科目の必修化を進めています

COC+事業の柱の一つである地域志向科目の必修化に向けた枠組みづくりを進めています。やまと共創郷育センターCOC+推進機構に設置された「教育改革部門」において作成された案について、教育計画室及び各学部の検討を経て、教養教育科目より5科目、文学部専門科目より8科目、理学部専門科目より4科目、生活環境学部専門科目より2科目を指定し、これらの中から卒業するまでに1科目以上の修得を要件とするための手続きを進めています。

平成31年度にアントレプレナー科目を新規開講

次年度、キャリア教育科目「キャリアデザイン・ゼミナール」のひとつとして『『ビジネスプラン』の作り方-アイデアだけでは終わらせない!』を新規開講します。この授業では、事業を展開する際の指針であり、内部関係者での方向性の確認、共有のみならず、金融機関や投資家等の外部関係者に意図を伝えて、協力・支持を得るために必要不可欠なものとしてのビジネスプランの作成実践を通してアントレプレナー意識の涵養を図ることを目的としています。

県内就職事業目標達成に向けてご協力をお願いします



COC+事業には、学生の地元就職率を事業スタート時点から10%アップさせるという目標があり、平成31年度には62名の学生の奈良県内への就職が必要となります。平成27年度22名、同28年度32名、同29年度35名、同30年度調査時点で24名と県内就職者は漸増傾向にはありますが、県外出身者が9割を占める本学にとっては非常に高いハードルを乗り越えなければなりません。

やまと共創郷育センターでは、今後も引き続き学生に奈良県への興味関心を高めてもらうため、様々な事業に取り組んで参りますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

奈良女子大学 やまと共創郷育センター

〒630-8506 奈良市北魚屋東町 奈良女子大学コラボレーションセンター1階
TEL 0742-20-3989 FAX 0742-20-3993 Email: coc-yamato@cc.nara-wu.ac.jp